

☐ ソフト事業のみ
 ☒ ハード事業を含む

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 6年度

市町村名	三郷市				
提案事業名	インクルーシブ公園推進事業				
事業期間	令和4年度 ～ 令和5年度				
成果指標	(成果を検証する指標) 来園者の満足度				
	(成果検証の具体的な方法) 令和5年度のイベント時において、来園者に対してアンケート調査を実施する。				
	(成果の目標値に対する実績)				達成度 A B C
	従前値 (年 月時点)	—	目標値 (6年3月時点)	70%	実績値 (5年10月時点) 66.7%
	(施設建設等の場合の実績)				
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		市ホームページにおいて、公園の特色や遊具について公表している。			

【事業効果の整理・原因分析】

令和4年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① インクルーシブ公園整備実施設計	○ △ ×	実施設計において、関係者や有識者への意見聴取を行ったことで、多様な障がいの特徴を踏まえた公園整備設計及び工事を行うことができ、来園者から安心して子どもを遊ばせられるといった意見をいただく等、来園者の満足度向上に寄与している。
② インクルーシブ公園整備工事	○ △ ×	

令和5年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① インクルーシブ公園交流事業	○ △ ×	障がいの有無に関わらず参加できる交流会イベントを実施したことで、既存利用者や未利用者に対する、継続的な公園利用の動機付けに寄与した。

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	実施設計において、関係者や有識者への意見聴取を行ったことで、多様な障がいの特徴を踏まえた公園整備設計及び工事を行うことができ、利用者の求める機能を備えた公園を整備することができた点。
実施事業について 成果が不十分である点	交流イベントの参加人数が限定的であるため、事業効果も限定的である点。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	交流イベントを定期開催すること等により、既存利用者や未利用者に対して継続的な公園利用の動機付けを促し、交流の活性化が図られるよう努めていく。